

life

くらし

健康110番

国際医療福祉大学病院です

⑬

野中宏亮産婦人科副部長



子宮脱の治療法は？

Q 60代後半の女性です。お産は4回しました。1年前より子宮の下がった感じがあります。最近悪化してきました。産婦人科を受診したところ、子宮脱といわれましたが、どのような治療法がありますか。

A 子宮や膣が下降あるいは脱出する病気を骨盤臓器脱といいます。子宮脱、膀胱瘤、直腸瘤などが含まれ、原因は骨盤内の臓器を支える筋肉（骨盤底筋群）の機能低下です。加齢に伴って、この病気で悩まされる女性が多くなります。また、多産や肥満、便秘、重いものを持つことなどで強い腹圧をかけることの多い女性に多発する傾向があります。

治療は骨盤臓器脱の程度により異なりますが、軽度の場合には骨盤底筋群の訓練を行います。中等度以上の場合はペッサリーによる保存療法や手術療法を選択します。

骨盤底筋群の訓練は、「爪先立ちで歩く」あるいは「排尿中に尿を止める」動きを1日30回程度行い、徐々に



イラスト/仲田育代

SHIMOTSUKE GRAPHICS

程度に応じ訓練や手術

時間や回数を増やしていきます。ペッサリー療法は、ポリ塩化ビニル製のリングを膣内に留置します。サイズは直径50mmから110mmまであり

ますが、適正なサイズを選択するのに2〜3回サイズを替えることがあります。まれに年齢に伴い膣・外陰部が硬くなり、ペッサリーを必要としない症例も

ありますが、多くの症例ではペッサリーの使用が長期化します。その結果、膣内に傷が付き、出血や褐色の縫い縮め、さらに余分な膣壁を切除して縫合する術式です。

また、ポリプロピレンソフトメッシュを用いる方法があり、骨盤底を支持する重要な組織をメッシュで置換します。さらに、前後の膣壁の一部を剥がし、前後の壁を縫い合わせる腔閉鎖法があります。いずれの方法も合併症・再発がありますので、実施に当たっては十分に主治医と相談して術式を選択してください。

以上、骨盤臓器脱について解説しましたが、高齢化社会に拍車がかかり、この病気はますます増加することが予想されます。生活の質を高めるためにも、恥ずかしがらず、お気軽に産婦人科医にご相談ください。

（産婦人科副部長 野中宏亮）

（第2、4、5木曜日掲載）